



Vo.1

2012年3月20日

本号から季刊にて、全国コットンサミット実行委員会の情報提供「季刊」通信を開始します。

上の写真は、全国コットンサミット実行委員会メンバーと岸和田の夢つむぎ会が、宮城県名取市に苗植えにいったものです（2011年6月）

### 「報告会見」 大阪市中央公会堂 小集会室にて開催

去る2012年3月13日火曜日、大阪市中之島に所在する大阪市中央公会堂の小集会室にて、報告会見を開催。

中央公会堂の竣工は、大正時代。  
メンバーの大正紡績株の設立も大正時代。



複数の新聞社、テレビ放送の記者の方々、一般のコットン栽培等に興味がある方々向けに、昨年「全国コットンサミット in 岸和田」の報告書 刊行のお知らせ、東北コットンプロジェクトの状況、ならびに、次回開催地鳥取県境港市のPRをした。

1. 「2011 全国コットンサミット in 岸和田」報告書 刊行のお知らせ（松下隆）

・「綿花栽培および国産木綿の製品化等に関するアンケート調査」結果（調査報告書 p.5）は、国内に存在しない綿花栽培実態を示すもの。貴重。

・本年も継続調査を4月に行う。

・2010年の栽培者34団体からの回答では、合計栽培面積は、65,000㎡=6.5haに及ぶ。郵送できていない団体等をいれるとさらに増えるはず。少なくとも、東北での1.8haを合わせると、昨年で約10haは綿花栽培がされていると推測される。

\* 調査報告書は、昨年サミットに来られた方々中心に配布中。所要の場合は、下記事務局に連絡ください。

4月中旬から本サイトにて全文掲載予定。



（左から木村、近藤、松下）



## 2. 境港市開催のPR

(メッセージ代読 夢つむぎ会 木村元広)

・本年 10 月 5 日土曜日に、鳥取県境港市で「全国コットンサミット in 境港市」が開催されることが決定した。

・伯州綿の栽培と製品化に取り組む事業を会場のすぐ横の圃場でみることができ、まさに、綿の収穫とサミットが同時開催できる。

・市内には、水木しげるロードなどの観光スポット、港で水揚げされる魚介類、近郊の温泉地など観光とあわせておこしてください。

・市長からのメッセージ代読

「当市としましては、このサミット開催を契機に、栽培面積でも、販売の取組みでも全国屈指の鳥取県境港市から「伯州綿」の魅力、素晴らしさを全国に発信していきたいとも考えております。」



## 3. 東北コットンプロジェクトの進行状況

(近藤健一)

・昨年は宮城県荒浜地域、名取市において重点的に綿花栽培を行った。合計 1.8ha に及び、農業の再興を目指す。

・収穫量は芳しくなかった。理由は、定植時期が 6 月と遅いこと、夏の台風による水没などである。

・収穫した綿から、タペストリーを織り、宮城県庁に寄贈予定である。経緯糸に荒浜、名取の綿から紡いだ糸を使う。

・商品化は、東北コットンプロジェクトが現在商品化会議を行い、どう製品化し、販売するのか検討中である。

・本年は、さらに栽培面積を増やしたい。現在農家、団体と調整中である。発表は東北コットンプロジェクトの Web サイトで行う。

・コットンサミットの役割は、全国の綿花栽培者を横断的にネットワーク化し、ものづくりを再考する場づくりと考えている。

・もちろん、先の通り、全国における綿花栽培の実態を把握し、農家と一緒に栽培放棄地での綿花栽培、および地域循環の活性化モデルづくりを行いたい。





・その後の質疑応答は、東北での綿花栽培、東北コットンプロジェクトの内容に集中し、事務局としては、全国における綿花栽培の勃興に注目してほしかったが。

・こうした、歴史的建造物が報告会見の場として使用できたこと、綿花栽培の活動も本物のものづくりを考えるとというメッセージでこの施設を報告会見場とした。

「本物志向」でありたい！



サミット活動をブランディングする！

がんばっていきます。

#### 編集後記

・あらため、綿花栽培と東北復興に注目が集まっていることを再認識。

・中央公会堂の小集会室は、昔、女性の食堂であったとか。やさしい模様の「織物」が壁に。

\*無断転載を禁じます。引用等ご要望ございましたら、下記までお知らせ下さい。



問い合わせ先

全国コットンサミット実行委員会  
事務局：大正紡績(株)浅田  
松下

TEL：072-470-0909

<http://cottonsummit.web.fc2.com>

<http://www.facebook.com/cottonsummit>